



民俗・芸能研究必携 待望の復刻版、稀覯誌をクレス出版から刊行

# 俗民本日

行發會協俗民本日

小川 直之 監修・解説 (國學院大學教授)  
《A5判/上製函入/クロス装/ C3339 /定価 17,000円(税別)》

クレス出版

俗民本日

俗民本日

俗民本日

俗民本日



# 折口信夫主宰『日本民俗』の刊行

國學院大學教授・折口博士記念古代研究所 小川 直之

民間伝承研究が一部の識者ではなく、その志ある多くの人たちも参加できるようになるのは、これを掲載、集積する専門雑誌が刊行されるようになってからである。現在の日本民俗学につながるこうした雑誌の始まりは、大正二年(一九一三)に柳田國男と高木敏雄が編集を行った月刊誌『郷土研究』であった。これが大正六年(一九一七)に四巻一二号をもって休刊すると、翌大正七年(一九一八)には、折口信夫が『土俗と伝説』を発刊する。しかし、これも刊行は四号で途絶える。その後、大正十四年(一九二五)には柳田國男を中心に『民族』が発刊され、昭和初期には民俗藝術の会による『民俗藝術』、折口信夫を中心とする民俗学会の『民俗学』と続いていく。

研究雑誌発刊の動向として注目されるのが昭和十年(一九三五)で、この年には日本民俗協会による『日本民俗』のほか、民間伝承の会による『民間伝承』、渋沢敬三のアチックミュージアムの『アチックマンスリー』、関敬吾らによる『昔話研究』、日本民族学会による『民族学研究』が発刊される。なかでも柳田の遺暦を期に開催された日本民俗学講習会を基にし、『民間伝承』を発刊する民間伝承の会は、昭和十二年(一九三七)には会員が一〇〇〇人を超える大きな組織になっていて、民間伝承への関心の高まりがうかがえる。

今回、複製版を刊行する『日本民俗』は、右のような動向のもとで発刊されている。これを機関誌とする日本民俗協会は、折口信夫による主宰で昭和九年(一九三三)十二月に発足し、『日本民俗』は北野博美を編集兼発行者として、翌十年八月に

第一号が発刊される。複製版の刊行は、従来からその存在は知られていたが、一号から三三号までの全号を所蔵する大学・公共図書館は稀で、その利用が困難であったのを解消し、民俗学や民俗芸能研究などの研究に資することを目的としている。

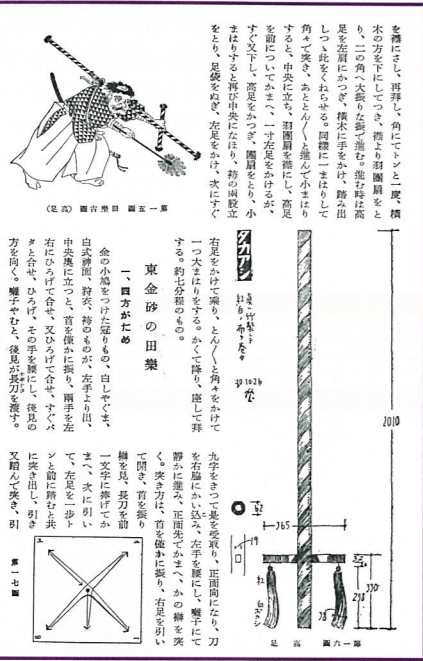
『日本民俗』の内容について、その要点をあげると次のようにいえる。

- ①『日本民俗』の内容は芸能分野を中心とし、各地に伝承されている芸能の調査記録・論述が掲載されるとともに、現在一般化している「民俗芸能」という用語はこの雑誌に初めて登場する。
- ②日本民俗協会などが主催した根子(秋田県)番楽・金砂(茨城県)田楽公演記録、日本青年館の全国郷土舞踊民謡大会の曲目資料、黒川能の研究と公演記録、南部神楽(八戸市)公演記録、東北六県郷土舞踊大会記録など、民俗芸能公演の記録と資料を多く掲載する。
- ③芸能公演として特記できる昭和十一年(一九三六)の「琉球古典芸能」公演を詳細に掲載する。折口、伊波普猷、比嘉春潮、東恩納寛博、小寺融吉などの執筆による、琉球芸能の内容、組踊(執心鐘入)台本、印象記、座談会記録、琉球芸能の論述などを掲載する。
- ④芸能分野のほか、今和次郎らによる民家研究を因りて連載する。先にあげた昭和十年(一九三五)創刊までの民俗学関係の研究誌のうち、『日本民俗』は利用が困難であったが、複製刊行によって、当時の研究動向や民俗芸能などの現況、詳細不明だった芸能公演内容が把握できるようになる。さらに日本民俗協会は、松本学を中心とする日本文化聯盟の傘下において、昭和初期から戦中期における作家や芸術家なども含む幅広い文化団体とその活動の一端が、本複製版によって捉えることができる。

## 日本民俗 復刻版

第1号(一九三五年八月)〜第33号(最終号:一九三八年八月)

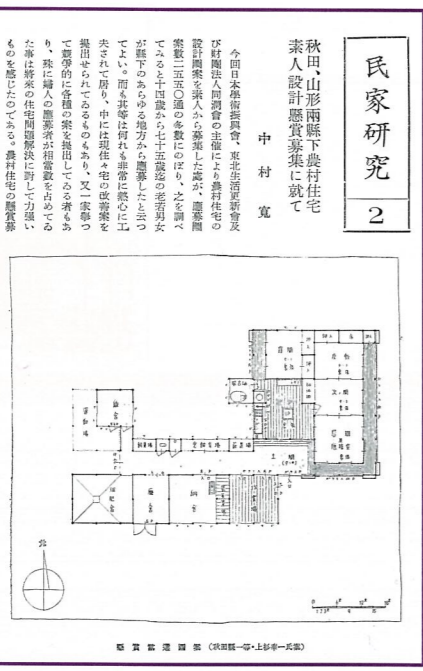
- 第1号 民俗研究の意義 折口信夫/資料を生かせ 小寺融吉/神楽を見る外国人 西角井正慶/民俗の採集 大藤時彦/野州栗山郷の獅子舞 菊池山哉/墓念仏の踊り座 櫻田勝徳
- 第2号 民俗研究の意義(続) 折口信夫/誤れる郷土研究の訂正 北野博美/狩猟者の生活 杉浦健一/飛騨山に遺る前代狐法 山田白馬
- 第3号 史学研究の上から 筑波藤麿/古典の新しい活し方 縹阿伽/弱法師 藤井春洋/紀州那智神社の田楽/相模共和村の神代踊り
- 第4号 第一回民俗芸能大会予記(解説:折口信夫、根子の番楽、金砂の田楽の紹介)/荒瀬村の話を 杉浦健一
- 第5号 大会所感 折口信夫/東西金砂の田楽、西金砂の田楽、東金砂の田楽/金砂の田楽を見て 本田安次/蛇足 北野博美
- 第6号 民俗研究の意義(続) 折口信夫/飛騨山に遺る前代狐法(続) 山田白馬/根つ子の番楽 本田安次
- 第7号 改年小記 北野博美/初春の行事から 辰井隆/飛騨山に遺る前代狐法(続) 山田白馬
- 第8号 「片手人形」の余蘊-文楽に残る人形源流の痕跡- 石割松太郎/ねずみなき-都会に残る民間伝承-北野博美/飛騨山に遺る前代狐法(続) 山田白馬
- 第9号 琉球国王の出自 折口信夫/新民謡に就て 小寺融吉/美作の護法祭 久米龍川/「琉球古劇」大会開催-附、琉歌・三味線・舞踊/「全国祭祀暦」の刊行 小寺融吉・北野博美
- 第10号 琉球国王の出自(続) 折口信夫/美作の護法祭(続) 久米龍川/日本青年館の全国郷土舞踊民謡大会の曲目
- 第11号 「琉球古典芸能」大会案内/筑後吉井地方の童謡 彌吉三光/美作の護法祭(続) 久米龍川/夏祭り採訪日記
- 第12号 「琉球古典芸能」解説:組踊りの話 折口信夫、組踊の独自性 伊波普猷、台詞・隈・服装など 東恩納寛博、琉球の村芝居 比嘉春潮、舞踊を見る方に 小寺融吉/てきすと(音楽・舞踊、組踊) 鳥袋全登
- 第13号 組踊台本・執心鐘入/琉球古典芸能の印象/琉球舞踊の足/七夕記事:筑後吉井地方の七夕 彌吉三光/武蔵越ヶ谷の七夕 森村浅香/七夕を中心に 北野博美
- 第14号 道徳の民俗学的考察 折口信夫/琉球古典芸能を語る(続) 伊波普猷・伊原守三郎・片山春帆・佐藤惣三郎・坂元雪鳥・清水和歌・鹽入龜輔・谷川徹三・鳥居言人・中山晋平・昇曙夢・比嘉春潮・松本龜松ほか/黒川能(黒川紀行 西角井正慶、黒川能のこと 齋藤香村、王祇祭と黒川能と 本田安次/盆行事/飛騨山に遺る前代狐法(続) 山田白馬/布久漏神社のひよこ祭・八朔行事
- 第15号 民家研究(蚕室の形態 今和次郎、小河内村に就いて 菊池山哉、小河内民家記 竹内芳太郎、小河内民家実測図)/黒川能上京公演記録(黒川能を囲んで 西角井正慶、台本に就いて 齋藤香村、備忘録から 高崎正秀、特徴三四 多賀倫太、所見随想 小寺融吉、今後の問題 北野博美)/黒平の道祖神祭り式三番と 本田安次/毛越寺の卒塔婆小町 小寺融吉/琉球の古典芸能を語る(続) 伊波普猷・比嘉春潮・鹽入龜輔・中山晋平/崔承喜を観る 博美/夏期採集帖から 辰井隆・森村浅香
- 第16号 談話会記事 折口信夫・北野博美/黒川能の「鐘巻」の型 多賀倫太・北野博美・小寺融吉/琉球の古典芸能を語る(続) 坂元雪鳥・松本龜松・谷川徹三・昇曙夢・清水和歌・原田佳明・伊原守三郎・片山春帆/武州入間鹿子舞 鳥居言人/武州市田村の鯨獅子 齋藤達夫/民家研究中村寛・竹内芳太郎・蔵田周忠・野瀬久一郎
- 第17号 日本芸能の海外紹介に就いて 北野博美/黒川能の大地踏と所伝別の型 本田安次/琉球の古典芸能を語る(続) 鳥居言人・松本龜松・片山春帆・伊波普猷・比嘉春潮・北野博美・折口信夫・小寺融吉・西角井正慶/歳末・年始の歌と唱へ言 辰井隆/民俗短信(狸と幽霊と 中鹽清之助、くし祭り 新井恒易)/民俗芸能台帳(出雲の神楽 伊藤良吉、尾張天道新田の赤鬼祭り 水谷劍治)/木の葉芸術の試み 丸山行雄、いろいろの記 博美/「日本祭祀暦」の出来



第5号「東西金砂の田楽」



第8号「片手人形」の余蘊



第16号「民家研究」

# 日本民俗 **復刻版** 全1巻

小川 直之 監修・解説

第1号(1935年8月)～第33号(最終号:1938年8月)完全収録

A5判/上製函入/クロス装/2017年8月25日刊行

定価 17,000円(税別) ISBN 978-4-87733-996-8 C3339

## クレス出版 好評既刊書 (定価はすべて税別)

庶民に伝承されてきた民間信仰に対して、学問的な探究を試みた貴重文献を集成

### 民間信仰論選集 全5巻 西村 明 編・解説

- |     |                  |            |                       |
|-----|------------------|------------|-----------------------|
| 第1巻 | 印度宗教史、比較宗教 迷信の日本 | 定価 20,000円 | ISBN978-4-87733-925-8 |
| 第2巻 | 日本宗教史            | 定価 15,000円 | ISBN978-4-87733-926-5 |
| 第3巻 | 民間信仰史            | 定価 16,000円 | ISBN978-4-87733-927-2 |
| 第4巻 | 日本民俗学研究          | 定価 17,000円 | ISBN978-4-87733-928-9 |
| 第5巻 | 民間信仰の話、神道思潮 ほか   | 定価 23,000円 | ISBN978-4-87733-929-6 |
- 揃定価 91,000円 ISBN 978-4-87733-930-2 (セット)



近代の神道研究を大成させた宮地・西田・津田氏による六冊の著作を復刻する

### 神道研究選集 全6巻

- |     |           |            |                       |
|-----|-----------|------------|-----------------------|
| 第1巻 | 神祇史       | 定価 7,000円  | ISBN978-4-87733-850-3 |
| 第2巻 | 続神祇史      | 定価 10,000円 | ISBN978-4-87733-851-0 |
| 第3巻 | 神道史の研究    | 定価 10,000円 | ISBN978-4-87733-852-7 |
| 第4巻 | 神道史の研究 第二 | 定価 20,000円 | ISBN978-4-87733-853-4 |
| 第5巻 | 日本古典の史的研究 | 定価 16,000円 | ISBN978-4-87733-854-1 |
| 第6巻 | 日本の神道     | 定価 10,000円 | ISBN978-4-87733-855-8 |
- 揃定価 73,000円 ISBN 978-4-87733-856-5 (セット)



戦時下に刊行された文学、武道、宗教、歴史、建築等に関する論集を全号復刻

### 日本文化 全10巻 日本文化協会 発行 井上 順孝 解説

- 第一回配本 全7巻 第一冊～第六十三冊(昭和12年7月～昭和15年11月)  
揃定価 95,000円 ISBN978-4-87733-488-8 (セット)
- 第二回配本 全3巻 第六十四冊～第九十七冊  
(昭和16年1月～昭和18年12月、昭和19年12月)  
揃定価 50,000円 ISBN 978-4-87733-489-5 (セット)



高田十郎の私家版資料集を全号復刻。柳田國男、南方熊楠の名も見られる貴重資料

### なら一高田十郎雑記 全3巻 池田 末則 解説

- |     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 第1巻 | 第1号(大正9年8月)～第20号(大正12年8月)   |
| 第2巻 | 第21号(大正12年9月)～第40号(大正15年2月) |
| 第3巻 | 第41号(大正15年3月)～第57号(昭和8年10月) |
- 揃定価 48,000円 ISBN 978-4-87733-206-5 (セット)



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋  
☎(03)3808-1821 ㊟(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版

●書店名